

# チャット

## 「チャット」とは

「チャット」とは英語で「おしゃべり」のことで、コンピュータや携帯端末を用いて、ネットワーク上の相手と会話を楽しむコミュニケーションツールの1つである。

従来では、文字ベースでコミュニケーションをリアルタイムに行うツールを指していたが、ネットワークの通信速度が向上したため、文字だけでなく様々な情報を相互に送り合うことができるようになり、チャットの種類も増えてきている。文字を用いたものを標準的なチャットとすると、音声を用いたものを**ボイスチャット**、映像を用いたものを**ライブチャット**と呼ぶ。相互に描画ウインドを開き、相手が描いている絵をリアルタイムで見ながら文字で会話ができるお絵かきチャットも存在している。

このように、チャットとはリアルタイムでネットワーク上の相手と様々なメディアを用いてコミュニケーションを行うツールであると考えてよい。

最近では、Java アプレットなどで実装された Web ブラウザで利用できる **Web チャット** も一般的になってきている。

チャットに参加するには、まず仮想的な空間に入室することから始める。これは「チャットルーム」や「部屋」などと呼ばれ、ネット上には多くのチャットルームが存在する。チャットルームは誰でも入れるオープンなもの、限られた顔見知りの仲間だけで利用するものがある。通常は、ハンドルネーム（ニックネーム）を自分で決めて入室（ログイン）することになる。

チャットルームに入室すると、参加者の発言が発言者名、発言内容、発言時刻などとともに1行ずつ表示される。掲示板などと異なり、誰かが発言すると他の参加者の画面にすぐに反映され、リアルタイムにやり取りが行なわれる。発言者名としてハンドルネームが表示され、顔文字や絵文字を付け加えたり、それぞれの参加者が選んだ自分のキャラクター

であるアバターが表示されたりする。

ツイッターは相互に交流するチャットではないが、リアルタイムに近い「つぶやき」を交流し合うことができるので、チャット感覚の掲示板である。

また、最近ではチャットだけを楽しむのではなく、ゲームに関するサイトにチャットが設けられていてゲームの攻略法を話し合ったり、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）にチャットルームがあり、そこでリアルタイムのおしゃべりをしたりするなど、**コミュニティサイト**（→p.38）の1つのツールとして使われる場合が増えてきている。

## 「チャット」の問題点

「チャット」はリアルタイムでネットワーク上の相手と交流するので、思わず個人情報が相手に知られることがある。

また、短い文章のやりとりが中心となるので、お互いの意思疎通がうまくいかない場合もある。文字のやりとりだけなので、相手の表情が見えないため、相手の感情を逆撫でするような発言をしたり、逆に相手の何でもない発言に対して過敏に反応し感情的になったりする場合もある。

さらに、ネットワークは相手の顔が見えない**匿名性**（→p.66）があるので、チャットで知り合った相手と長い時間交流することですっかり相手を信用して、実際に会いに行ってみると、チャット上で認識していた人とまったく異なる人格である場合もある。実際、チャットで知り合った人に会いに行くと乱暴されるなどの事件も多数報道されている。

このような被害にあわないためには、チャット上で知り合った人と実際に会ったり、気を許して個人情報を漏らしたりしないように日頃から注意することが大切である。